



塾全協新聞

題字: 怜齋(白川亮 進ゼミ柏)



発行: NPO 法人学習塾全国連合協議会
 全国事務局長・東日本ブロック
 広報局長: 中村基和
 発行日: 2022年(令和4年)4月

ご挨拶

NPO 塾全協 全国会長・西日本ブロック理事長 山下典男 (明修塾 岡山県)



昨年5月より沼田広慶前会長の後を引き継いで全国会長に就任いたしました山下です。微力ながら会長職を務めますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

まだお会いしたことのない会員の先生方もいらっしゃいますので、簡単に自己紹介をいたします。

所属: 明修塾(株式会社明友社取締役会長 入社歴36年 創業者: 村上宏典)

本部は岡山県倉敷市にあり、倉敷市、岡山市、玉野市に教室展開。6年前より香川県高松市の啓真館と、また一昨年より愛媛県松山市の寺小屋グループとグループ化。全国学習塾協会副会長を兼任。

生年月日: 昭和28年12月1日 鳥取市生まれ。

自宅は鳥取市にあり、岡山・鳥取間を金婚月来の生活25年以上継続(2人の子どもたちはそれぞれに独立し、いずれは毎日夫婦2人だけの生活がやってきますが想像するだけでも……)。岡山では1人で無芸大食、鯨飲馬食の日々を送っています。

コロナ禍に入り2年余りが過ぎました。塾全協といたしても以前のような取り組みが出来ない中、東日本ブロックでは工夫を凝らしながら各地で進学相談会を実施、昨年11月初のオンラインでの全国研修会を主催し、また

西日本ブロックにおきましても関西私塾教育連盟様と共催の年初の教材フェアはここ2年間開催できていないのは残念ですが、オンラインを使っての内部研修や情報交換、さらには東西共催のオンライン忘年会などを行ってきました。これまでなら何もできないまま時間が過ぎていましたが、科学技術の進歩が時間と空間を超えて社会生活に寄与していることに改めて目を見張るものがあります。

少子高齢化、人口減、人口偏在、グローバル化、ICT化、AIの進歩などにより、日本のみならず世界中の社会の在り方が大きく変化していますが、依然として国家間の紛争もあとを断ちません。将来をしょって立つ子

どもたちと日々接している私たちといたしましては、「何のために学んでいるのか」を子どもたちに絶えず問いかけながら日々の仕事に邁進していきたいものです。そのための「研修の塾全協」「塾全協設立の理念」「NPO化の目的」の原点に戻り、愚直に活動を進めていきましょう。

今年こそ、春の東西各総会・全国総会、大阪での秋の全国研修大会では一堂に会して実施できることを祈っています。また、会員のみなさまにおかれましては、健康に留意されながら希望に満ちた1年でありますように…。

中学3年生対象 高校入試会場もぎテスト

進研 Vもぎ

Vもぎ過去問集、塾内テストも大好評です!!

進学研究会

首都圏最大、圧倒的参加者数! 志望校判定はVもぎにおまかせください。

子供たちの輝く未来を応援する育伸グループ

Human Orbit of Publishing and Education

Hope

教育図書出版 株式会社 育伸社

http://www.kushin.co.jp

学校・塾・法人のお客様へ

生徒の“続けられる”学習習慣を身につける!

オンライン学習教材

デキマス

2022年に

しなければならぬことのひとつ

NPO 塾全協 東日本ブロック 理事長

内藤潤司 (埼玉県狭山市 ソロモン総合学院)



コロナに2年以上苦しめられ、まさかのロシアのウクライナ侵攻に、私たちを取り巻く不安要素は増すばかりです。夫をウクライナに残し、隣国ポーランドに着の身着のまま家族を連れて脱出した母親と子供たちの表情を見ると、心苦しく身につまされる思いです。第二次世界大戦後人類の努力で積み上げられた思想や、制度が、一人の権力者の独断で意のままに崩壊するのを目の当たりにして深い喪失感を感じる毎日です。3歳ぐらいの子供を連れてお母さんは、この子はまだ戦争の意味が分からなく、ポーランドに旅行に来たと伝えているのです。伝統と豊かな環境の故郷、ウクライナを突然離れ、大きな音とそれまで見たことのない母親の不安な表情と涙する姿を、経験の少ない子供たちはどう感じているのでしょうか。厳しい現実を受け入れることでできるのでしょうか。そしてまたそのような状況をニュースや動画で目にする私たちのかかわる子供たちは、どう感じているのでしょうか。

続々と毎日伝えられる残酷な戦争の映像は、日本の子供たちには、どのように映り、どんな影響を残すのでしょうか。

「国境なき医師団」は、今回もすでにウクライナ南部、クリミア半島の北に早々に入り救護活動を開始しております。この前のシリアでも数名の医者が亡くなっていることを聞いておりますが、唯々敬服するのみです。振り返って、私たちは何をすべきでしょうか。私たち

にかかわる生徒になにをしてあげるのでしょうか。

息子が、「親父、今回は、中3だけでなく、ほかの学年も面談したら」と言いました。

私たちの塾では、春期講習の最終日には、毎回実力テストを実施いたします。その後、中3生全員の一回目の面談をその成績を見ながら行いますが、今年は2年生、1年生も実施したらいう意味と捉えました

新学期から一斉授業は、4年生の国語、6年生の算数のみと、おじいさんが孫に教えるようなクラスのみになり、時間の余裕のあることを知っての発言でしょう。時間がかかりますが、できる限り多くの子供と接して行くことがまず第一かな。そしてさらに。

ZOOM 革命

NPO 塾全協顧問 沼田広慶

(千葉県松戸市 北辰館スクール)



コロナ禍による学級閉鎖や学年休校等により、毎週のようにオンライン授業が入っている。2年前はこのような状況になろうとは予想していなかった。Zoomも使ったことがなく、そもそもIT音痴である私にとってはオンライン授業など青天の霹靂と言っている。当初は困惑するばかりであったが、NPO塾全協に入っていたおかげで何とか窮地を脱することができた。宣伝するわけではないが、塾団体は有難いものだった。

そこでZoomによるオンライン授業の話だが、慣れてくると意外と便利である。最近では教室で普通の授業をやりながら、同時にZoomでやり取りするのも当たり前になってきた。対面でなければやりにくいこともあるが、90%はZoomで何とかなる。塾生たちも休憩時にお菓子をちょっと 次頁につづく

NPO 塾全協顧問(前会長)の沼田広慶先生に塾全協新聞への投稿をお願いしたところ、なんと4つも書いてくださいました。ここにその中の2つを掲載し、残りは原則毎月発行している「東通信」に掲載させていただくことにしました。

沼田先生は現在、授業のない日は毎週のように登山、トレッキングを楽しんでおられます。日曜日という近所の公園内にある青空軽食堂で常連のお客さんたちと昼間っから呑んでくれている私(中村)とは正反對の健康的な生活です。

つまんでくることもできるし、何より比較的都合のいい時間に授業が受けられるので、評判は上々だ。保護者にとっても通塾の行帰りの心配をしなくていいので安心だ。雨にも風にも雪にも負けずに授業が予定通りできるのも素晴らしい。遅くなっても双方が了解すれば時間を気にせずできる。特に小学生の場合は夜遅く通塾のために街中を通るのは保護者にとっては心配だが、オンラインなら全く問題外だ。コロナ禍でも問題なく授業ができていながらも、塾生は減ることもなく、むしろこの2年間は塾生数が毎年わずかではあるが増えているのもオンライン授業導入のおかげであろう。

しかし、と私はここで考え込んでしまった。ならば通塾する必要はあるのか、と。勿論、対面でなければやりにくいこともあるのは重々承知しているし、対面でなければ継続しがたいという見方もある。だが、対面の授業効果とオンラインのそれとを天秤に測ってみると微妙だ。オンラインだけでもいいのではないかと、思ってしまう。

軽々には論じられない問題だが、高度情報化社会が社会生活全般にわたって大きな変革をもたらしているのは事実である。変えなければならぬことは変えなければならない。学校でもオンライン授業でコロナ禍を乗り切っている。ただ、学校には対面授業や同じ時間と空間を共有しての集団授業などによる社会性の育成という目的もあろうから全てオンラインにはならないだろう。私はIT社会においては絶滅危惧種であり、現在はおぼろげに生き残っているに過ぎない。だから偉そうなことは何も言えない立場だが、これからの塾業界はオンライン授業が主流となり、対面授業は特別な時だけ、あるいは対面コースを設けている塾だけとなるのではないかと、そんな気がしてならない。

私はあと1,2年で70歳だが、書斎からお茶でも飲みながら、オンラインで塾を細々と続けるというのもありだなどと考えている。コロナ禍は教育におけるZoom革命の始まりの時であるのかもしれない。

2019年6月25日に衆議院第二議員会館に学習塾6団体その他の方々が90人ほどが「民間教育推進のための自民党国会議員連盟総会」に出席しました。そこでNPO塾全協の沼田会長が「部活動に係わる指導の徹底」というテーマで、現状報告と要望を發表しました。それを受けて文科省は部活のガイドラインを作成しましたが、過度な部活の現状は一向に変わらない状態です。それに関して沼田先生に書いていただきました。

部活動の現状報告と提言

コロナ禍で部活動が中止になったり、時間的に制限されたりしている場合を除けば、公立中学校の部活動はガイドラインを全く無視していると言ってもいい状態である。以下に昨年からの現状をまとめてみた。

- (1) 休みは1週間に1度もない部活動が多い。日曜日に試合があっても月曜日は練習がある。公式にはなくても、自主練習という形で実施する場合も多い。
- (2) 中間期末等の定期テストの3日前から休むことになっているが、ほとんど無視されている。それどころか、テストの直前に練習試合を入れたりすることがあり、しかも当日はその試合に出場しない者も応援として一日中拘束されている。
- (3) 春休み夏休み冬休み中もほぼ毎日練習があり、陸上部は午前中で終わることが多いが、他は一日練習が多く、講習会等には参加が困難な状況である。
- (4) 時間的にもガイドラインは無視されている。吹奏楽部は土日も10時間くらい練習している。14時間半も拘束されたという記録がある。平日も夜9時を過ぎるのは当たり前である。バスケット、野球、サッカー、バレー等も土日は一日練習が多い。
- (5) 部活動の担当教員は当該活動の素人が多い。現在は廃部となっている地元中学の柔道部などは初段そこそこの先生が指導していたが、私(講道館六段、全日本柔道連盟公認指導者資格取得者。幼稚園児から現役警察官を含む社会人までを40年近くにわたって指導。)から見れば滅茶苦茶である。あれでは素質ある者までつぶしてしまうだろう。

以上の点を踏まえて次の提言をしたい。

- (1) 部活動の時間は夕練のみで平日週3回までとし、1回の練習時間は1時間半を限度とする。土日も公式大会以外は無しとする。
- (2) ガイドラインに法的効力を持たせ、守れない学校は校長と担当教員の責任として辞職させる。学校名も公表する。
- (3) よりレベルアップを望む者は民間スポーツクラブで練習できるように受け皿を用意する。公的資金による補助を与える事も必要だろう。なお、民間事業なので週何回でも何時間でも自由契約について行えばよい。但し、高額費用となったり、子どもたちの心身の正常な発達を阻害したりすることがないように契約内容に関するガイドラインを設け、事業者に守らせるために法的制限を加える事も必要だ。指導者は指導資格者に限ることは言うまでもない。
- (4) 学校の部活動には専門の指導資格のある者に指導させる。それができなければその部活は認めない。
- (5) 人数が少ない場合は近隣の数校でチームを作る事も可とし、大会等にはそのチームで参加を認める。
- (6) 生徒たちの体力増強のためには普段の体育の内容を充実させればよい。遊びのような時間ではなく、基礎体力トレーニングを本格的に導入すべきである。毎日、始業前に体操させるのも良いだろう。

以上

↓民間教育推進のための自民党国会議員連盟総会で現状報告と要望を發表する沼田NPO塾全協前会長。



コロナ渦の中で子ども達の健やかな成長を願います

NPO 塾全協 東日本ブロック 事務局長 中山和行(埼玉県比企郡 中山塾)



2020年から始まった新型コロナウイルス感染症の対策のため緊急事態宣言、まんえん防止等重点措置などが次々と発令され丸2年が経ってしまいました。3年目に入っても第六波の収束はまだ見えていません。飲食店をはじめ旅館・ホテル・旅行会社などの観光業は直接的な影響を受け大変な状態になっています。

その点、自塾はそこまでの影響を受けずになんとかやってきております。塾業界としても大きなクラスターが出ることもなくオンラインと併用しながらコロナと向き合っているようです。

小中学生などの児童生徒のコロナ禍における心理的なストレス等はものすごいものがあると思います。一つの例として、新小学3年生は小学校に入学した時からコロナが続いており、ずっとマスク生活です。

入学した途端に緊急事態宣言で2ヶ月間も学校がありませんでした。新たな友を作る機会がほとんどありません。マスクを外す唯一の時間であるたのしい給食もずっと前を向いたまま黙食で食べています。

皆さんは14分ルールという言葉をご存知ですか？私も最近聞いて、なるほどと思うとともに愕然としました。濃厚接触者の定義にマスクなしで15分会話するというのがあります。ここからマスクなしで15分給食を食べることはよくないということで14分ルールができたそうです。もちろん全国的に広がっているわけではありませんが、小学校でおこなわれて

いたというので驚きです。

小さいときにこのような生活を強いられた子供たちが健やかに成長していけるように、また蔓延防止等がなくなり正常に教育ができることを心より願っています。

今年度全国研修大会のご案内

第46回全国研修大会

in 大阪道頓堀

—新しい英語教育の時代へ—

日本の英語教育が変わる

日時：2022年(令和4年)10月30日(日)

研修大会 14:00~17:30

懇親会 17:30~19:30

場所：大和屋本店 大阪市中央区島之内2-17-4

(地下鉄日本橋駅より徒歩3分)

講師：中島洋一関西外国語大学教授、田尻悟郎関西大学教授

大会実行委員長：杉山信良

※今回はコロナ対策として塾全協会員のみ20名限定とします。また、状況によってはオンライン研修となる場合もあります。

格安
HP制作

Howcang

MONOXER

公立中高一貫校対策模試は 公中検模試

公中検模試

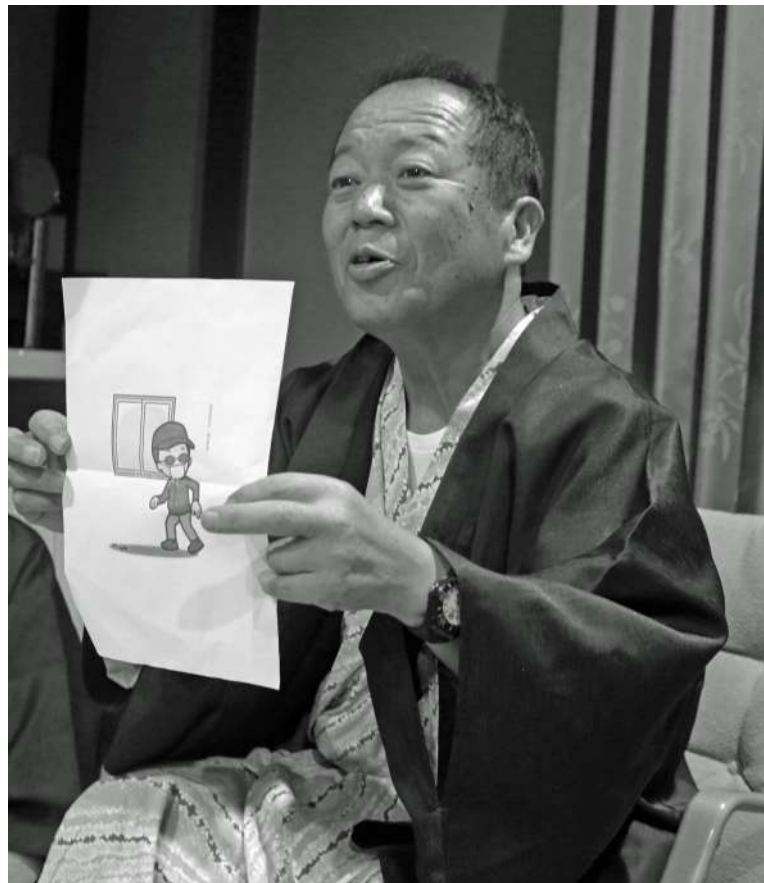
- ✓10年連続受検者数No.1
- ✓的確な中間課題抽出
- ✓志望校に合った問題

公中検模試は、
塾内受検と会場受検が選べます。

日本教材出版

11月の研修大会予告

藤井寿比古(兵庫県神戸市 藤井塾)



↑西日本ブロック忘年会で英語落語を披露する藤井先生

皆さん 2015年11月1日にタイムスリップしてみましょう。
神戸の研修大会で 中嶋 洋一先生の英語のワークショップがありました。
3時間の最後に 以下のような中学生の作品がスクリーンに
映されました。覚えていますか？

Love

Math question are easy.
Exams are easy, too
They don't trouble me
But I have one problem.

It is love.
Love is very difficult.

I love her.
But she loves another boy.
I don't solve this problem.

(詩人になって 訳してみましょう)

愛という名のミステリー

数学の質問なんて 簡単だ。
試験も 簡単だ。

これらに 僕は悩まされない。
しかし 僕には 一つ 問題がある。

それは 愛し愛されるということ。
愛って 難しい。

僕は 彼女を愛している。
でも 彼女の瞳に映っているのは
僕ではなく あいつ。
この謎は 迷宮入りだ。

*教師がどういうものを与え 生徒がどう答えたか？

An English teacher in Kobe showed this picture to his students.
(父親が 幼児を 大空の下で 抱え上げ 高い高いをしている写真)
and told that they are a father and a son.
And he added the son's mother died of breast cancer last year.
He asked them "What do you think he is saying to his son?"

Students wrote.

Listen to me carefully, OK?
Sadly your mother has died. Now she is in the sky.
Here.
I want you to be strong.
And I want you to keep gentle.

Your mother became a star.
So please don't feel sad. Do you know why?
She's watching you like this. Always.
And wherever you are !
So I want you to be a good boy. I love you.

Do you know where she is?
Your mother is above the sky. You can't see your mother.
But she will see and cheer us. So you're not alone.
Please do everything sincerely.
If you do so, your mother will be happy.

Your mother is not here.
But she lives in your heart. She is with you.
So when you feel happy, she will be happy.
If you are sad, she will feel sad, too.

Remember your mother lives in you.

中学3年の卒業の時 ここまで 生徒の感性はひろがります。
最後に、中嶋先生は
Smiles are contagious.
Feelings are contagious, too.
と、結ばれました。
今年の10月 30日(日)に再び 中嶋先生との出会いがあります。
お楽しみに。

NPO 塾全協 東日本ブロック の1年

2022年5月23日(日) 東日本ブロック総会
 2022年5月30日(日) 全国総会
 共にWeb上
 役員改選で新全国会長は山下典男先生(岡山県 明修塾)が選ばれました。
 右の写真は全国総会に先立って行われた全国常任理事会→



2021年6月9日(水) オンライン経営研修会
 「折り込みチラシを保管するスマホ時代のPR手法」
 CHALK Digital」
 講師：菅井陽介氏(中央教育研究所株式会社)

2021年6月20日(日) 私塾ネット関東、NPO 塾全協東日本ブロック
 *春の合同研修会「動画コンテンツ くらべてみたら こうなった!」
 場所:お茶の水ワイム貸会議室及び Web上
 参加企業:(株)UNIVATION、(株)育伸社、(株)好学出版、(株)エデュケーショナルネットワーク、(株)日本教材出版、教育開発出版(株)の6社

第42回 NPO 塾全協 私立中高進学相談会

日時:2021年9月19日(日) 11:00~15:30

開場前→

場所:新宿 NS ビル イベントホール

参加校 ブース参加校 104校、定時制高校 1校、高等専修コーナー 3校 資料参加 中学・高等学校 21校 大学 2校

入場者数 約 6,000名

昨年度はコロナ渦のため、いつもの進学相談会は中止になり、代わりにオンライン進学相談会を催しましたが、今年度は2年ぶりに対面式の進学相談会を実施することになりました。予想以上に多くの来場者があり、コロナ対策の関係上、午後には相当数の方々には亡きの😞でお帰りいただきました。今年度はそういうことがないように企画を立てております。





第34回 NPO 塾全協 埼玉地区進学相談会

日時：2021年9月19日(日) 11:00～15:30
場所：川越プリンスホテル(西武新宿線 本川越)
主催：NPO 塾全協埼玉地区
ブース参加校：29校
来場者：875名

昨年度の埼玉地区進学相談会はコロナ渦のためオンラインでしたが、今年度は2年ぶりに対面式進学相談会を実施することになりました。ただし、コロナ対策のため従来とは大分異なるやり方になりました。まず時間帯は1時間半ごとに3部に分け、予約制にしました。(あくまでも時間帯の予約で、相談する学校の予約ではありません。)レイアウトは先生と相談者の向きを全部同じにしました。そしてブースの後ろには待機用の椅子をおきました。(図と写真を参照)教材コーナー、抽選コーナーは無し。学校別説明会も取りやめになりました。



↑ 開会セレモニー



全景合成写真

NPO 塾全協 全国研修会

日時:2021年11月5日(金)10:30~13:00

場所:Web上(ZOOM)

テーマ:1『新しい英語指導 塾はどうする?』

※コーディネーター:菅井陽介氏(中央教育研究所)

テーマ:2『オンライン教材展』

参加企業:サインウェブ・文理・好学出版・中央教育研究所

毎年文化の日あたりに実施されている NPO 塾全協全国研修大会は、昨年はコロナ渦のため中止、今年も対面式の大きな「大会」は無理とすることで「全国研修会」という形でオンラインで研修会を実施することになりました。

テーマは、今年度から区学校の英語教科書が急に難しくなったため、それに対する対策関係でした。

NPO 塾全協 西日本ブロック オンライン忘年会に参加

日時:2021年12月12日(日)午後7:00~8:30

会場:Web(ZOOM)上にて

参加者:10名

前年度は奈良での予定で楽しみにしていたのですが、コロナ渦のため中止でオンラインに切り替わりました。2021年もやはりオンラインで催すことになりました。東日本ブロックからも3名参加しました。オンラインとはいえ、久しぶりに「お会い」する方もおられ、楽しい一時となりました。次回こそ奈良で皆さんにお会い出来ればと思います。



NPO 塾全協 東京地区主催 ミニ研修会

日時:2021年12月15日(水)10:30~12:00

場所:Web上(ZOOM)

協力:(株)教育開発出版

テーマ:『どうする? 塾の英語教育』

第1部:『中1・1学期の定期テスト分析に基づくご提案』

講師:(株)教育開発出版 企画推進室 室長 奈良氏

第2部:英語新教材のプレゼンテーション

プレゼンター:(株)教育開発出版 東京2課 酒泉氏

埼玉東部「教材研究会」

日時:2022年1月11日(火曜)10:00~13:00 場所:越谷中央市民会館5F

主催(共催):NPO法人ゆめネット、NPO法人埼玉教育ネット

NPO法人学習塾全国連合協議会東日本ブロック

参加企業:12社(育伸社、えいそう総研、エデュケーションネットワーク、学書、教育開発出版、城南進学研究社、スプリックス、トーエイ、



編集後記

コロナ渦のためイベントが少なく、あってもオンラインだらけの2年間でしたので、塾全協新聞のページ(4~8ページ)を満たすことが果たして出来るのかどうか心配でしたが、前会長の沼田先生や西日本ブロックの藤井先生のご協力もあって8ページ物を作ることが出来ました。お二人には大感謝です。

私が知る限りでは「塾全協新聞」は30年以上、東日本ブロックの「広報」でした。しかし、全くの個人的意見ですが、NPO塾全協は全国組織ですので塾全協新聞も東西合同のものでも良いかと思えます。私が塾全協に入った頃は「インターネット」って何?という時代でしたが、現在は写真や文章をネットで瞬時に送ることができる時代です。しかも掲載する記事が中々集まらないという悩みも減ります。今度の全国常任理事会、全国総会で提案したいと思っています。

NPO 塾全協 全国事務局長・東日本ブロック広報局長
中村基和 (東京都中野区 むさし野ゼミナール)

